



Title	癌と人 第39号 目次
Author(s)	
Citation	癌と人. 2012, 39
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21387
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

◎ 題 字 ◎

公益財団法人 大阪癌研究会
元理事長 千 代 賢 治



*表紙絵解説

「蟹」のいわれ

蟹の絵は川俣順一大阪大学名誉教授にお願いして描いてもらったものである。

癌に関係ある学会のシンボルマークに蟹の図案化したものがよく用いられている。

癌と蟹の関係の歴史は遠くギリシャ時代にさかのぼる。ギリシャの医聖ヒポクラテス著述のところどころに、今日私どもがいう癌と思われる記録がある。ヒポクラテスはそれを「カルキノス」と呼んでいる。カルキノスというのは日常一般に用いられていた言葉で、蟹のことである。ヒポクラテスが記述しているという病気（癌）の格好が蟹に似ていたのでそれを呼び名とした。

今日、欧米では日本でいう癌をカルチノーマと呼んでいる。それはカルキノスという言葉からきたもので、両者は同義語である。

ヒポクラテスはカルキノス（蟹）という日常語を純然たる医学語とした人である。癌と蟹の関係はそれ以来続いている。

ご あ い さ つ.....	1
田 口 鐵 男	
生活習慣の改善によるがん予防.....	2
田 口 鐵 男	
PET 検査をめぐって～PET（ポジトロン 断層撮影）は、がんの診療にどこまで有用か～.....	9
高 見 元 敵	
『紅梅』と癌の告知.....	14
小 川 道 雄	
CT でがんになるのか.....	17
中 村 仁 信	
漢方薬でがんを治すことができるのか？.....	20
岩 永 剛	
「よかったです！早期発見。みんなの笑顔」	
特定非営利活動法人ピンクリボン大阪の誕生.....	32
富 尾 貴 美 代	
熱ショック転写因子HSF1の 抑制による細胞老化の誘導機構.....	38
小 田 司	
ヒト細胞遺伝子改变法による $BRCA1$ ヘテロ欠失 の分子病態解析－抗癌剤への反応性について－.....	39
小 西 裕 之	
多発性骨髄腫における 新規遺伝子異常の同定と解析.....	40
坂田(柳元)麻実子	
p53に制御されるnon-coding RNAの同定： バイオマーカーとしての有用性と分子標的への応用.....	42
佐 々 木 泰 史	
癌ワクチン治療の効果予測に有用な 新しいバイオマーカーの開発.....	43
笠 田 哲 朗	
RCAS1をターゲットとした新たな がん分子標的治療開発に関する研究.....	45
園 田 顯 三	
切除不能肺癌に対する塩酸ゲムシタビンと Vascular Endothelial Growth Factor Receptor 2(VEGFR2) 由来エピトープペプチドを併用した新規免疫化学療法の確立.....	46
谷 真 至	
新規乳癌関連分子の細胞分裂制御能の 解析による発癌機構の解明と治療法の開発.....	48
千 葉 奈 津 子	
悪性脳腫瘍細胞の遊走と脳内微小環境.....	49
中 田 光 俊	
ナノ粒子アシスト型がん化学療法の開発.....	51
長 崎 幸 夫	
乳癌のEMTを介した浸潤形質獲得と 転移部位における休止と再発の分子機序の解明.....	53
橋 本 茂	
造血器腫瘍の移植治療におけるMSC(間葉系幹細胞) 共移植療法の開発(靈長類モデルを用いて).....	55
増 田 茂 夫	
・平成22年度事業報告.....	57
・平成22年度収支計算書等.....	60
・平成23年度寄付者ご芳名.....	66
・平成24年度事業計画書.....	67
・平成24年度収支予算書.....	68
・公益財団法人大阪癌研究会役員名簿.....	70
・公益財団法人大阪癌研究会定款.....	71